

2011年5月16日

各 位

丸紅株式会社
双日株式会社
J F E 商事株式会社
日鐵商事株式会社

丸紅、双日、JFE 商事、日鐵商事、豪州コドリラ石炭鉱区の権益を取得
～ 製鉄用 PCI 炭の優良炭鉱を所有し、安定的供給に貢献 ～

丸紅株式会社、双日株式会社、JFE 商事株式会社、日鐵商事株式会社の4社は、豪州クイーンズランド州ダーリンブルベイ港から南西約150キロメートルに位置するコドリラ石炭鉱区（Codrilla）の権益19.7%について、マッカーサーコールリミテッド社（Macarthur Coal Limited、本社：ブリスベーン、以下MCC社）、および中信資源（CITIC Resources Holdings Limited、本社：香港、以下CITICリソース社）の2社から取得することで合意しました。



【コドリラ炭鉱周辺図】

丸紅・双日・JFE 商事・日鐵商事、および MCC 社・CITIC リソース社の 6 社は、コドリラ鉱区に近接するコパベラ・アンド・ムアベール・ジョイントベンチャー（Coppabella & Moorvale Joint Venture、以下 CMJV）のパートナーであり、今回取得するコドリラは CMJV の新規鉱区として開発されることとなります。コドリラは良質な PCI 炭資源を埋蔵しており、2013 年からの生産開始を予定しています。

PCI 炭はコークスの代替として高炉に吹き込まれる微粉炭で、日本、韓国を始めとする東アジアや、欧州・ブラジルなどの市場で需要が増加しており、今後も拡大が見込まれています。コドリラ鉱区の開発は、PCI 炭の市場における CMJV のシェアを更に高めるとともに、新日本製鐵や JFE スチールを始めとする高炉各社の原料安定調達に寄与するプロジェクトです。丸紅、双日、JFE 商事、日鐵商事は、CMJV を通じて今後も石炭の安定供給体制の構築に取り組んでいきます。

コドリラ石炭鉱区概要

(1) 炭鉱位置	豪クイーンズランド州 Dalrymple Bay 港から南西へ約 150km
(2) 埋蔵量	可採埋蔵量約 5000 万トン
(3) 生産開始	2013 年予定
(4) 生産方法	露天掘り
(5) 年間生産量	約 320 万トン/年
(6) マーケット	日本、韓国、中国、欧州、ブラジルなど
(7) 権益比率	丸紅 7%、双日 7%、JFE 商事 3.7%、日鐵商事 2.0% MCC 社 73.3%、CITIC リソース社 7% (それぞれ豪州子会社を通じての権益保有)

以上